

報道各位

新潟市報道資料

令和8年2月2日

新潟市こころの健康センター

講演会「私のひきこもり体験記～誰もが住みやすい地域って なんだろう?～」の開催について

ひきこもり経験者が、自身の体験談（ひきこもるきっかけ、当時の状況、社会とつながるきっかけなど）と、“地域の皆さんへのメッセージ”をお伝えします。

■登壇者

- ・安田 翔馬さん
- ・長谷川 大輔さん
- ・新潟市ひきこもり相談支援センター（ファシリテーター）

■日時

令和8年2月28日（土）午後2時～午後4時（受付：午後1時30分～）

■会場

新潟テルサ3階 大会議室（新潟市中央区鐘木185-18）

■定員

先着100名。参加無料。（どなたでも参加できます）

■申込方法（①、②のいずれかの方法で申し込み）

①新潟市オンライン申請システム

②新潟市役所コールセンター

電話番号：025-243-4894（受付時間：午前8時から午後9時まで）

※申込期間：2月4日（水）～2月25日（水）まで

■お問い合わせ

新潟市保健衛生部 こころの健康センター

電話：025-232-5580

担当：長澤、松田

※本件に関するお問い合わせは午後5時までをお願いします。

『ひきこもりを考える』
(2回シリーズ)

新潟県精神保健福祉協会新潟市支部 令和7年度 市民講座

今年度の市民講座テーマは『ひきこもり』。
第2回は、ひきこもり経験者から“地域の皆さんへのメッセージ”をお伝えします。

【第2回】私のひきこもり体験記 ～誰もが住みやすい地域ってなんだろう？～

登壇者

やすだ しょうま
安田 翔馬さん

大学の就活失敗からひきこもり生活を経験。就労支援を受け、福祉の仕事に就いた。

はせがわ だいすけ
長谷川 大輔さん

不登校の後、10年以上ひきこもりの期間を過ごした。現在、いくつかの支援機関と関わっている。

ファシリテーター

新潟市ひきこもり相談支援センターの皆さん

通称「ひきセン」。どんな活動をしているのか、ご紹介します。
新潟市の委託を受け、2011年8月から万代市民会館5階で絶賛活動中。

会場からのご質問にも
お答えします

日時 令和8年2月28日(土) 午後2時～午後4時 (午後1時30分 開場)

会場 新潟テルサ 3階 大会議室 (新潟市中央区鐘木185-18)

定員 100名(先着順) 参加無料。

当事者・経験者、家族、支援者、その他関心のある方はどなたでも。

申込方法 右記の二次元コードから、新潟市オンライン申請システムへ
アクセスしてお申し込みください👉



URL <https://www.city.niigata.lg.jp/iryo/kenko/kokoro/r2kensyu/index.html>

上記電子申請ができない方は、新潟市役所コールセンターへお申し込みください。
電話番号 025-243-4894 (受付時間:午前8時から午後9時まで)

*午前8時から午前10時頃までの間は、電話が混み合うため、繋がりにくい場合があります。

申込期間 令和8年2月4日(水)から2月25日(水)まで

◆当日参加も可能ですが、定員に達した場合は入場をお断りすることがあります。

< 会場アクセス >

バス JR 新潟駅バスターミナル 16番 S7スポーツ公園線

バス停「産業振興センター前」下車、徒歩1分

< 駐車場 >

専用駐車場 550台

臨時駐車場 1475台(周辺施設と共用)

車イス駐車場 5台



【新潟県精神保健福祉協会について】

こころの健康に関する知識の普及啓発を行い、県民一人ひとりのこころの病の予防・健康づくりをすすめ、また、精神障がい者の社会復帰と社会参加の促進につとめることに賛同する会員の集まりです。

新潟市支部を含めて県内に6支部あります。随時、会員を募集しています。

病院・クリニック・その他事業所など団体会費(年 2,000 円)、個人会費(年 500 円)、寄付も受け付けております。詳しくは、下記にお問い合わせください。

《お問い合わせ》

新潟県精神保健福祉協会 新潟市支部事務局
(新潟市こころの健康センター内)

〒951-8133 新潟市中央区川岸町 1 丁目 57 番地 1

TEL 025-232-5580

FAX 025-232-5568

Mail kokoro@city.niigata.lg.jp